

# JAみえきた木曾岬トマト部会

所在地	三重県木曾岬町
部会員数	34名
栽培面積	1,815 a うち土耕栽培 1,055 a、養液栽培 760 a
栽培品目	大玉トマト
出荷量	2,231 t

※平成29年作部会実績



## 1 部会の概要

温暖な気候と水や土壌に恵まれた栽培条件と消費地に近いという地理的条件を活かし、品質と鮮度にこだわったトマトを栽培している。部会員は34名、栽培面積は約18haで、10月から翌年7月まで出荷しており、冬春トマトの指定産地となっている。

また、一部生産者は、水分制御や肥料濃度の調整により付加価値の高い高糖度トマト（「とまりッチ」と命名）の生産・販売に取り組んでいる。



## 2 生産の概要 ～高度環境制御技術や養液栽培の導入～

産地の更なる発展に向けて、平成28年度から産地パワーアップ事業を活用し、当部会員のうち8戸の農家が、ハウス内の温度、湿度、日射量などをコンピューターで管理する高度環境制御栽培施設の整備や塩害や土壌病害の発生リスクを回避できるロックウール培地による養液栽培を取り入れるとともに、光合成を促す炭酸ガス発生装置の導入等により販売金額の10%以上の向上を目標としている。



## 3 販売の概要 ～中京圏市場を中心に販売～

当部会で生産されたトマトは、擦傷防止のため緩衝材を敷いた収穫用コンテナを使用し、農協の共同選果場へ集荷された後、選果、箱詰めされ、三重県内や中京圏の市場へ出荷している。

## 4 今後の課題・展開 ～更なる生産性向上を目指して～

高度環境制御装置により得られた各生産者の室内環境データを活用し、適切な環境制御についての勉強会を開催するなど、部会員の更なる生産性の向上に取り組んでいる。